

## テモテへの手紙 II

囚われの身であり、処刑を間近にひかえたパウロが、最愛の弟子テモテに送った遺書とも言える手紙です。自分は犯罪人という最もみじめな境遇におかれ、しかも、エペソの教会では、大ぜいの信者が造反運動を起こすという悲しい出来事に直面して、パウロはテモテに、どんなにつらい時も、正しい教えを伝えることだけは忘れないように、と訴えます。そして、自分の一生は、まさにそうした戦いの連続であり、それを勇敢に戦い抜いたことを語ります。

—

1 2 キリスト・イエスを信じる者に神様が約束された永遠のいのちを、人々に伝えるために遣わされた、キリスト・イエスの宣教者パウロから、愛するテモテへ。どうか、父なる神と主キリスト・イエスが、恵みとあわれみと平安とを、あなたに注いでくださいますように。

3 テモテよ。私はあなたのことを、どんなに神様に感謝しているか知りません。毎日、あなたのために祈り、長い夜も、何度となく思い出しては、どうかあなたに祝福があるように、と願い求めています。神様は、先祖代々の神であり、また、私の神です。そして、この神様に喜んでいただくことだけが、私の生きがいなのです。

4 私は、ぜひもう一度あなたに会いたい、と願っています。この願いがかなえられたら、跳び上がって喜ぶことでしょう。今でも、あの別れの時の、涙にくれたあなたの姿が、まぶたに焼きついているのです。

5 あなたの主に対する熱心な信仰は、お母さんのユニケやおばあさんのロイスに少しも劣らないことを、私はよく知っています。そして、今でもその信仰は変わらないと信じています。

6 ですから、お願いしたいのです。私があなたの頭に手を置いて祈った時、うちに注ぎ込まれた力と勇気を、もう一度、奮い起こしなさい。7 なぜなら、神様が遣わされた聖霊様は、人を恐れず、知恵と力とをみなぎらせ、人を愛し、喜んで人と共に歩むことを、要求なさるからです。8 もしあなたが、この力を奮い起こすなら、主について人前で語るのをためらったり、キリスト様のゆえに牢獄につながれている私のことを、恥じたりしなくなるでしょう。それどころか、私と共に苦しむ覚悟ができるはずです。神様は、苦しみのただ中にあっても、力を与えてくださるのですから。

9 神様は私たちを救い、そのきよい仕事に任命するため、選んでくださいました。それは、私たちにその仕事をする資格があったからではなく、何もかも、この世が始まる前から、神様によって決められていたことなのです。それによって、愛とあわれみを、キリスト様を通して私たちに示そうとされたのです。10 そして、救い主キリスト・イエスが地上に来られた今、神様は、その計画の全貌を明らかにしてくださいました。キリスト様は死の力を打ち破り、ご自分を信頼する者に、永遠のいのちに至る道を切り開いてく

ださったのです。 11そして神様は私を、この良い知らせを外国人に宣べ伝え、教える使者にお選びになったのです。

12そのため、私はいま獄中で苦しんでいるのです。 しかし、それを少しも恥とは思いません。 なぜなら、自分が、どなたを信頼しているのかよく知っており、またその方は、お任せしたものをみな、再び来られるその日まで、安全に守ってくださる、と確信しているからです。

13私が教えた真理、特にキリスト・イエスが与えてくださった信仰と愛とを、しっかり握っていなさい。 14あなたのすばらしい才能は、うちに住んでおられる聖霊様からの贈り物ですから、十分に注意して守りなさい。

15ご存じのとおり、アジヤから来たクリスチャンは、みな私を捨てて行きました。 フゲロとヘルモゲネでさえ、離れて行ったのです。 16どうか主が、オネシポロとその家族とを、祝福してくださいますように。 彼は、たびたび私を訪ね、励ましてくれました。 彼が来るたびに、新鮮な空気を胸いっぱい吸い込んだように、たいそう元気づけられたのです。 しかも彼は、私が獄中にいることを、少しも恥ずかしいこととは思いませんでした。 17その証拠に、彼はローマに着くとすぐ、あちこち捜し歩いて、ついに私を訪ねあててくれたのです。 18どうか、再びキリスト様のおいでになる日に、主が、彼を特別に祝福してくださいますように。 エペソでの彼の献身ぶりは、あなたのほうがよく知っています。

## 二

1私の子テモテよ。 キリスト・イエスから力をいただいて、強くなりなさい。 2なぜなら、あなたには、多くの証人の前で、私から聞いたことを、ほかの人に伝える使命があるからです。 この偉大な真理を、信頼のおける人、すなわち、自分が信じるだけでなく、人にも伝えることのできる人に教えなさい。

3キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と共に苦しんでください。 4キリスト様の兵士となった以上、この世のさまざまな事に、うしろ髪を引かれてはなりません。 そんなことでは、キリスト様の軍隊に入隊させてくださった方を、悲しませるだけです。 5ルールに違反した競技者は失格し、賞を得ることができません。 同様に、主の仕事に携わる人も、主の規則に従うべきです。 6身を粉にして働いた農夫が、多くの収穫をあげるのは当然です。 ですから、あなたも一生懸命働きなさい。 7以上の三つの例を、よく考えなさい。 これらのたとえの意味を理解する力が、主から与えられますように。

8 イエス・キリストが、人間としてダビデ王の家系から生まれ、同時にまた神であること〔それは、死人の中からの復活という、驚くべき事実によって証明されました〕を、いつも覚えていなさい。 9私が今こんなつらい目に会い、犯罪者のように牢獄に放り込まれているのは、ほかでもありません。 このすばらしい真理を人々に伝えたからです。 しかし、私は鎖でつながれていても、神様のことばは、つながれてはいません。 10私は喜んで、どんな苦しみも耐え忍びます。 それは、神様に選ばれた人に、キリスト・イエス

の救いと、永遠の栄光とをもたらすためです。

11 私は、次の真理を知っているので慰められます。 すなわち、キリスト様のために苦しみを受けて死ぬ時が、天で、キリスト様と共に生きる時の始まりを意味する、ということです。 12 もしも、主に仕える現状をつらいと思うことがあれば、いつの日か必ず主と共に王座につき、共に治めるようになることを思い起こして、がんばりなさい。 もし、私たちが苦しみに耐えかねて、キリスト様を拒むようなことがあれば、キリスト様も、私たちを拒まれるに違いありません。 13 たとい、信仰をなくしたかと思えるほど、私たちが弱くなっても、キリスト様は真実を貫き、私たちを助けてくださいます。 私たちは主の一部分になっているので、切り捨てられることはないのです。 そして、主はいつも約束を果たしてください。

14 このすばらしい事実を、教会員の心にしっかり植えつけなさい。 そして、つまらない問題で議論するのを、主の名によって禁じなさい。 そんな議論は混乱を招くだけで、百害あって一利なしだからです。 15 あなたは、神様から「よくやった」と、おほめのことがいただけるように、熱心に励みなさい。 神様に仕事ぶりを評価される時、胸を張っていられるような、りっぱな働き人になりなさい。 そのために、聖書が教えていること、意味することを学びなさい。 16 人々を憎しみの渦に巻き込むような、くだらない議論を避けなさい。 17 そんな議論は、火のように、どんどん燃え広がって、人々を傷つけるばかりです。 議論好きのヒメナオとピレトは、まさしくこの種の人間です。 18 あの連中は真理の道を踏みはずし、死人の復活など、もうすんだことだとして偽りの教えを言い広め、それを真に受けた人の信仰を、台なしにしています。

19 しかし神様の真理は、巨大な岩のようにしっかり立っていて、だれも揺るがすことはできません。 この土台となる石には、次のようなことばが刻まれています。 「主は、真に自分に属する者を知っておられる。」 また、「自らクリスチャンだと名のる人は、悪から遠ざかりなさい。」

20 裕福な家では、金銀の高価な器だけでなく、木や土の粗末な器も備えてあります。 高価な器は客をもてなすために使い、粗末な器は台所用か、残飯入れに使います。 21 あなたがいつも、罪を犯さないように注意しているなら、家中で一番高価な純金の器になれるでしょう。 つまり、キリスト様の最高の目的のために、用いていただけるのです。

22 若者がいだきがちな情欲を避け、遠ざかりなさい。 反対に、いつも正しいことをしたいという気持ちをいだいていなさい。 信仰と愛とを保ち、主を純粋な心で愛している人々とのつき合いを、大切にしなさい。

23 くり返しますが、人々の心を乱し、怒らせるだけの、くだらない議論に巻き込まれないように、注意しなさい。 24 クリスチャンは争ってはなりません。 過ちを犯している人を、やさしく忍耐をもって正せるようになりなさい。 25 真理に逆らう人たちを、謙そんな心で教え、さとしなさい。 おだやかに、思いやりをもって話せば、あるいは神様の助けによって、その人はまちがった考え方を改め、真理を信じるかもしれません。 2

6 こうして正気に戻った人たちは、罪の奴隷として、思うままにあやつる悪魔のわなから逃れ、神様のみこころに従うでしょう。

三

1 テモテよ。これから書くことを、よく心にとめておきなさい。終末の時代には、クリスチャンになることが非常にむずかしくなります。2 自分だけを愛し、また、お金だけがすべてだと考える風潮が、はびこるからです。高慢な者、大風呂敷を広げる者、神様をあざける者、両親にそっぽを向き、感謝することを知らない者、手がつけられない、ならず者が現われます。3 また、頑固で、決して他人を理解しようとししない者、うそつきの常習犯で、問題ばかり起こし、頭はみだらな思いでいっぱい、といった連中が増えます。彼らは乱暴で残忍な行動をし、善良であろうとする人をあざ笑います。4 友を裏切り、怒りっぽく、すぐに思い上がり、神様を礼拝するひまがあつたら、もっとおもしろいことをして過ごそうと考えます。5 教会に出席する者がいたとしても、聞いたことを何一つ信じようとししないのです。目をしっかり開けて、そんな人たちには近寄らないようにしなさい。

6 中には、うまく他人の家に入り込み、だらしのない愚かな女たちにつけ入って、新しい教えを吹き込む者がいます。7 このような女は、目新しい教師にはすぐ飛びつきますが、いつまでたっても真理がわかりません。8 また、こうした教師も、モーセに逆らった、ヤンネとヤンブレのように、真理に逆らっているのです。その心は汚れ、ねじけていて、クリスチャンの信仰に刃向かってくるのです。

9 しかし、いつまでもそんなことが続くわけではありません。ヤンネとヤンブレの罪がだれの目にも明らかになったように、いつかは、彼らの、うそでこり固まった行為も、明白になるのです。

10 私がそんな人間でないことは、わかってもらえるはずです。あなたは、私が何を信じ、何を望み、どのように生活しているか、よく知っています。キリスト様に対する私の信仰も、苦しみも、そして、あなたへの愛と忍耐も知っています。11 神様の良い知らせを伝えたために、私がどれだけ痛めつけられたかも知っています。アンテオケ、イコニウム、ルステラで受けた迫害の一部始終も、知っているはずです。しかし主は、私を守ってくださいました。12 確かに、キリスト・イエスのお考えにそって、神様を敬う生活を送ろうとする人はみな、敵対する者から苦しめられ、迫害されます。13 しかし、大ぜいの人をだます悪人や偽教師は、自分も悪魔にだまされて、ますます悪の深みにはまり込むのです。

14 けれども、あなたは、真理を教えた私たちを信頼していなさい。15 また、小さな子供のころから、自分がどのように聖書を教えられてきたか、覚えているでしょう。この聖書こそ、キリスト・イエスを信じることによって救われるための知恵を、与えてくれたのです。16 全体が神様の靈感によって書かれた聖書は、何が真理であり、何が悪であるかをよく教えてくれます。また、私たちの生活をまっすぐにし、正しいことを行なう

力を与えてくれます。 17 こうして神様は、私たちをあらゆる点で整え、すべての人に善を行なう力を、十分に授けてくださるのです。

#### 四

1 それで私は、神様とキリスト・イエスとの前で、厳粛な思いで忠告します。 [キリスト様は、いつの日か神の国を完成させるために現われて、生きている者と死んだ者とをさばかれるお方です。] 2 どんな時にも、神様のことばを熱心に伝えなさい。 機会があろうとなかろうと、つごうの良し悪しにかかわらず、励みなさい。 過ちを犯している教会員には、忠告して、正しい道に引き戻してやりなさい。 そして善を行なうよう励まし、たゆまず神様のことばを教え続けなさい。 3 なぜなら、人々が真理のことばは耳ざわりだと敬遠し、自分につごうのよい話をする教師を求めて歩き回る時代が来るからです。 4 彼らは聖書の教えに耳を傾けようとせず、まちがった教えにしっぽを振ってついて行くのです。

5 ですから、危機感をいだき、絶えず目を覚まして警戒していなさい。 主のために受ける苦しみを、恐れてはいけません。 他の人たちをキリスト様へ導きなさい。 なすべきことを、一つ残らず成し遂げなさい。

6 こう言うのも、私の最期が迫っているからです。 いつまでも助けてあげるわけにはいきません。 もうすぐ天国へ旅立ちます。 7 主のために、長いあいだ困難な戦いを続けてきた私は、主への真実を守り通しました。 しかし今ついに、休む時が来たのです。 8 天では、冠が待っています。 正しい裁判官である主が再び来られる日に、いただく冠です。 もちろん私だけにではなく、主を熱心に待ち望む日々を過ごす人々全員に、授けられるのです。

9 できるだけ早く、こちらへ来てください。 10 11 デマスは私を捨てて、テサロニケに行ってしまいました。 この世の楽しみに心を奪われてしまったのです。 クレスケンスはガラテヤへ、テトスはダルマテヤへと、それぞれ出かけ、私のもとに残ったのはルカだけです。 こちらへは、マルコも連れて来てください。 彼に頼みたいことがあるのです。 12 [テキコも、今はここにいません。 エペソへ使いにやりましたから。] 13 ついでに、私がトロアスのカルボの家に置いてきた上着を、忘れずに持って来てください。 それから羊皮紙の書物も、お願いします。

14 銅細工人アレキサンデルが、私にひどい仕打ちをしました。 主が罰してくださることでしょうが、 15 彼には気をつけなさい。 とにかく、私たちのことばに、ことごとく逆らったのですから。

16 私が初めて、裁判官の前に連れ出された時、弁護してくれる人は一人もいませんでした。 だれもが見捨てて、逃げてしまったのです。 どうかそのことで、彼らが神様から責められませんように。 17 しかし主は共にいて、私を助けてくださいました。 神様のことがあらゆる国の人に伝えられるため、大胆に説教する機会を与えてくださいました。 また、あわやライオンのえじきとなるところを、助け出してくださいました。 1

8 主は、いつもあらゆる悪から救い出し、ついには、天国に導き入れてくださるのです。  
神様に、栄光がいつまでも限りなくありますように。 アーメン。

19 プリスカとアクラに、またオネシポロの家族に、よろしく伝えてください。 20 エ  
ラストはコリントにとどまり、トロピモは病気のため、ミレトに残して来ました。

21 冬になる前に、何とかこちらへ来てください。 ユズロがよろしくとのこと。 プ  
デス、リノス、クラウデヤ、そのほかのクリスチャンもみんな、よろしくと言っています。

22 どうか、主イエス・キリストが共におられますように。

パウロ

■